

令和4年度（2022）第2回出雲市障がい者施策推進協議会会議録（要旨）

1. 開会	本協議会を公開で開催
2. 健康福祉部長 あいさつ	省略
3. 会長あいさつ	省略
4. 副会長承認 あいさつ	省略
5. 議 事	<p>(1) 次期障がい（児）福祉計画策定のための障がい福祉サービス等の 利用状況・ニーズ把握調査の結果報告 【資料1】</p>
事務局	(事務局説明)
会長	<p>今回の資料は、アンケート調査票のほか、法人、利用者、事業所のそれぞれの調査結果と自由記載欄をまとめたもののほか、資料1は、調査の柱として実施した概要をまとめたもの。</p> <p>委員の皆さんから、資料1の項目にそって、アンケート自体について、ご質問やご意見をうかがい、課題を整理するという進め方でよろしいか。</p> <p>まず移動支援事業についてのアンケートと、事業所のアンケート結果について、ご質問あるか。</p>
A委員	<p>移動支援は、障がい者にとって通院や施設利用に本当に大切なものだと考えている。</p> <p>アンケートの自由記載に、今までタクシー券がもらえた人が、所得制限によってタクシー券がもらえなくなったなどいろいろ書かれている。</p> <p>また、市の中心部から離れたところにいる人に対しては、同じ枚数では不公平ではないかというような意見も少しあったように思う。</p> <p>そのような地域から、市の中心部までタクシーで来ようと思ったら、片道5000円以上はタクシー料金がかかるので往復で1万円ぐらいになる。1回通院するだけでも、1万円ぐらいのタクシー利用料金がかかる。枚数については、所得制限はありますけど障がいの程度によって枚数が決められている。</p> <p>今後の課題として、佐田や多伎など中山間地域に住んでいる障がい者で、タクシー券を使ってるような方については枚数を増やす。福祉タクシーは出雲市独自の事業なので検討してはどうか。</p>
会長	委員の皆さんで、関連したご意見があるか。
B委員	私も家族が利用させてもらう立場。アンケートの自由記載のところで、扱いづらいことの記載をした人が何人かおられた。タクシー券はA4の用紙に6枚分を印字したものを切って使用する。また、券を切り離すことは何とかできるけども、そのタクシー券を利用者がずっと出しにくく、なかなか使いづらいという記載

<p>会長</p>	<p>も結構あった。スマホ決済といった、もっと簡易な方法を少し考えていただきたい。枚数が少ないというのは本当に確かにそうだなと思いますので、考慮してもらいたい。</p> <p>他の委員の皆さん、これに関連していかがか。</p> <p>かなりタクシー券のことについて自由記載が非常に多いと私も感じている。基本的には、移動に関しては、通常の交通手段なり交通網があり、そういうものが使えないとか使いにくい地域で、障がい者の移動支援をするという考え方になろうかと思う。</p> <p>交通の非常に不便な地域と比較的に利便性の高い地域と、どういうふうを考えるか。市全体の交通政策との関係で、そちらで手当がされないとする、そういったことも考えていかないといけない。</p> <p>紙のタクシー券の使いづらさみたいなものが、スマホ決済で、皆が対応できるかどうかということや、費用的な問題もあると思う。</p> <p>今の状態で、より使いやすくする方策についても検討が必要かと考える。検討課題として、2人の委員さんからのご意見を承っていきたい。</p> <p>市の方で今の時点で何かあるか。よろしいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今の時点でこれだというふうには施策を打っていきたいということがまだはっきり申しあげられません。障がい者タクシーの利用も含めて、市としてはタクシー券をお渡ししているが、お渡ししたタクシー券を全部お使いになってないということもございますので、分析しながら、今後検討させていただきたいと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>あとそれ以外の移動支援に関して、全体としては満足度は高いが、一部では、なかなか事業者側の人員不足等で必要な時に使えないということが、調査からもう一つ課題としては出ている。これについて何かご意見あるか。</p> <p>タクシー会社で、運転手の確保ができずに、なかなか予約ができないという事情もありますので、一概に障がい者施設だけの話ではないと考える。</p> <p>事業者側の方から何か。ご意見はあるか。</p> <p>あと地域の理解ということもある。市役所の前の2台の障がい者の駐車場も時々そうでない方がご活用になったりしているということがある。大型ショッピングセンターやその他の公共交通機関の障がい者用の駐車場も同様のことがある。使い方がモラル的に低いこともあるので、よりそういったことへの周知、啓発をしていただく必要もある。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次に日中一時支援事業について、これも非常にご希望が多い中で、いろんなサービスの間を埋める事業ということではあるが、なかなかフレキシブルに提供することも、若干難しい側面もあって、希望通りの時間帯に使うということが難しいということが、調査から出ておりますけど、これについていかがか。</p>
<p>C委員</p>	<p>私ども日中一時支援事業を運営しておりますので、事業所の立場で結果について意見しますが、いろんなサービスの間を埋める出雲市の地域生活支援事業</p>

ですが、障がいのある方にとっては、子どもさんも含めて大事なサービスだと思っている。

この3ページの上から2番目に書いてあるように、特にサービス内容が障がい福祉サービス提供前後の利用が多い。

もう少し遅くまで、この日中一時支援事業を使って、見守って欲しいというリクエストは多い。

今、経営的に問題なのはやはり人員不足。確かにそうです。やはり収入が非常に乏しいということは間違いなくあり、それは解決しなければいけないことは、以前から申しあげているところ。

すいませんが今日お配りいただいたこの事業者報告書を見てるんですが、ぜひ、50ページ51ページをお開きいただいて、皆で共有したいと思う。

日中一時支援事業の収益の内訳というのが、50ページにあります。事業所の平均値が、とりあえずは3年度で約252万円です。それに対しては51ページの費用の金額が間違っていなければですけども、桁が違って3600万円ぐらいになっている。収入に対して1桁多い費用。これは多分計算方法が、単に純粋に日中一時支援の人件費とか、設備費だけじゃなくて、もしかするとそれに付随している別の旧サービスの人件費等も含まれてるかもしれませんが明らかにそうであれば、やはり費用の方が大幅に上回ってることは間違いない

次の52ページを見ましても、各事業所長さんからの答えがやはり収益の確保というのは、61%の人がそうおっしゃってる。前年度3年前よりも3倍以上収益の確保のリクエストが多いということを見ても、やはりある程度赤字経営で、専任の方を何人も雇うということはなかなか法人としては難しい。給付費の確保がないと専任の職員をさらに増やして良い提供サービスができるとは限らないと思いますので、このたびこの計画にあたりましても、市の事業の日中一時支援事業につきましては特に今の計算方法の枠を、そのまま踏襲しなくて、新たな考えの基に給付費の計算、または、実施している事業所の質のサービスを提供を与えるために、専任職員の1人2人分の給付費が出るように、人員の確保に結びつけるようにして欲しい。

あとは法人の努力で、利用者さんのサービスを良くしていくということが必要だと思うので、行政と事業者と連携しながら、また経営のことも考えながらしていきたいと思うので、ご検討分析をしていただきたい。

会長

今の問題提起について何かあるか。

他の委員さんからご意見あるか。

支出に関しては、人件費と、どれだけ割り振るかということがあるので、15倍多くかかっているという単純な話ではないけどもそこらも精査した上で、現状持続可能な事業展開ができるような体制整備を行っていく必要があると思うが、市だけで対応できることばかりでもないもので、実態としては、そのあたりを少しご協力いただいている事業所でどうなっているかということの精査をいただきたい。

他の方がいいか。

利用者の立場で何かあるか。日中一時支援について、ご意見あるか。

D委員

一つ教えていただきたいんですが、利用する子どもさんとか、年齢によって、この利用するしないとか何かデータが違ってくるのか。

今の小さい子どもさんから10代から70代の話をずーっと延べた数字だと思

	うんですが、それぞれ違いがあるのか。
会長	今のご質問で、日中一時支援ですけど、先ほどの交通関係にしても、あと日中どう過ごすかっていうことについても、やはり 18 歳以下と 18 歳以上で随分違うので、それはまたそういう年代の差がはっきり現れるところは追加で、また次回資料をお願いしようかと思う。
事務局	利用者アンケートの 103 ページ。 日中一時支援事業を利用したことがありますかという問いの下のところに年齢別で内訳を出しております。 未就学児、小中高校生、それから 18 歳以上。
会長	これより小中高校生の利用が一番高い。
事務局	そうです。多く利用していただけてますが、18 歳未満の方の利用が大変多い。後程、その世代別を詳しく書いたものを、整理をさせていただいて、ご提示したいと考えている。
会長	他にいかがか
E 委員	先ほどご指摘いただいておりますが、今の事業所の視点での給付費、運営費、事業所、各種活動、サービス提供に係る個別に対しての収支の課題ということでこのアンケートから垣間見える部分ということでご紹介いただきました。 私も県でこの事業をしておりまして、いろいろとある意味、障がい福祉サービスの提供のための基本的な報酬ですが、そういった法定費用の部分については構造的な課題があるということも非常に認識している。 あと参考に物価燃料高の影響で、まず各事業所への活動が難しくなってること。そのことによって人件費を考えて、ただでさえ人員が不足してサービス提供が不十分になってきてる面にさらに拍車をかけるんじゃないかという懸念も確かにおっしゃる通りだと考えている。 これは障がい福祉に限らず実は高齢者福祉介護給付費の部分に、障がいの介護給付もそうですけど、介護事業所における課題と共通する部分がありまして、県としましては非常に重要な課題だというふうに問題を認識している。障がい者、高齢者、児童含めて、福祉の推進をする上でもそういった補助ネックがならないようにということで、そういった状況を把握しまして、県としてできることがあれば国の方に訴えていかないといけないことで、整理をして改善するように考えているので、貴重なご意見だと。 これを踏まえて対応していくのでよろしくをお願いします。
会長	ありがとうございました。 一応、県の方でもご検討いただけるということ。 今までの移動支援と日中一時支援に関して何かご質問とかご意見あるか。
F 委員	きめ細かくいろんな制度をやっている。このアンケートにはいっぱい集まっていると思うんですけど。基本的に制度そのものを知らないとか。 例えば、ささえ愛サポートも最近で、今の日中一時支援事業とか移動支援と

	<p>か、例えばタクシーの話ですが制度が複雑だったりで、こういう場合どうすればいいか。説明の中でも、移動支援なかなか難しかった。タクシー券を申請するかと私が行ったら制限で駄目だった。我々も本当は情報を伝えたいと思っているが難しいです。</p> <p>制度そのものを知らない人もいるということで、契約を作って、予算も一応やっていたいてありがたいんですけど、それを周知して知らせることが必要。メニューをうまく一人一人の事情に応じて使いこなせる。そのための周知とかその辺をどうすればいいのか考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>制度が非常に複雑で、またなおかつ変化するということと、ニーズも非常に多様であったり所得制限があったり一時的な変化もあるので、相談支援の力量なりそこでの相談の体制だったり大きいんだろうと思う。</p> <p>ここでは出てきてませんが、相談支援の力量形成という意味では、いろいろ自主的に集まっていたいて、研修や事例報告、事例検討もしていただいているが、全般的には相談支援員の力量形成なり、制度を使いやすくするためのガイドみたいなところは、市としてはどういうふうに考えているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほどご質問があった通り、制度自体も非常に複雑で自分にどんなものがあるのか、そういうこと自体もまだわからないという声はいただいています。</p> <p>相談支援専門員がそのサービス或いは制度、インフォーマルフォーマルなサービスをつなぐ役として、この出雲市内で7~80名おります。事業所が32事業所。</p> <p>実は相談支援専門員もかなり経験を積んだ10何年の方から、1年目の方もいて、二極化をしている現状がある。</p> <p>日々、制度も変わっていくので、月に1回のサービス調整会議という相談員が集まる会議で事例検討をしたり、或いは制度の学習をしたりということ、それから県が実施しておられる人材育成の初任者研修、主任研修とか、あとはもう機能強化事業でハートピアやふあっとに市が委託をさせていただいて、スーパーバイズしていただいたりというようなことを今重ねているところ。</p> <p>それともう一つ専門部会の中に「そうだん」というのがあり、どうやって相談員の力を上げていくかというようなことも取り組んでいる。</p> <p>今のご利用者さんには、「障がい福祉のしおり」というのを例えば手帳取得をされたとき窓口ですべてご説明をさせていただきいておりますが、その場ではなかなか何が必要なのか、どのサービスが合ってるかはわからないので、本当に相談支援専門員さんたちが今一生懸命すべてのサービス利用者の方に、一人ひとりついてやっていますので、力量形成というのは本当にこれからまだやっていかないといけないなというふうに思っている。</p>
<p>F委員</p>	<p>我々も地域で活動する中で、精一杯したいと思っているが、なかなかそういったのが、勉強不足でできてないと反省をしております。一緒になって少しでもたくさん伝えられればと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>また使いにくかったことなど出していただいて、専門部会等で検討いただきたい。</p> <p>他に今までのところでないか。</p>

	<p>介護保険の方も、ケアマネージャーさんがついてるけど、やっぱり報酬の多寡で、ベテランさんがなかなか定着せずに新人さんばかりになったりというようなこともあって、なかなか相談支援専門員の専門性というか、そういうのがどこまで評価されてるかということも危惧はするところ。そういった問題整理をしていただけたらと思う。</p> <p>他にいかがか。</p> <p>それでは、日中一時支援について特にご質問ご意見がなければ、3番目の地域生活支援拠点整備事業支えあいサポートについて、受託の2施設を責めるような話になってはいけませんので、盛り上げる意味で、ぜひご意見を賜ればと思うがこれについて、いかがか。</p>
G委員	<p>ささえ愛サポートについて、こちらの事業所として受託しておりますので、今現状についてお話をさせていただく。</p> <p>これがスタートするとき、パンフレットをいただきまして、うちを利用しておられる通所の方、あと相談支援専門員が受け持っている利用者の方についてすべて配布させていただいて、登録されませんかということでお声掛けさせていただきました。</p> <p>今登録していらっしゃる方が10名程度ですけど、実際体験利用された方が何名かいらっしゃいます。</p> <p>先般も女性の方が1人、利用したいということでしたけどコロナの関係でなかなか利用ができなかったが、最終的に利用されました。グループホーム見学されて、自分が独立をしたいんだという意思表示もされましたので、それにあたっては、うちが相談の担当ではないので、相談支援事業所の担当の方と前向きに話を進めていくという形をとっている。</p> <p>もうひとり利用された方は最終的には入所に繋がりました。本人がうちの事業所で入所をしたい、作業がいいということで、他の事業所B型を利用しておられましたけど、現在は入所して半年ぐらい経っておりますが、順調に生活されています。若い方ですので、適応も早かったというふうに思っている。</p> <p>ただ、残念なのはこの制度を知ってるのは約10%というところで、まだまだ宣伝が足りないのかなということ。受け入れる事業所の数も少ない。うちの短期入所でマックスで6名というふうになっているが、6名全員受けるのは多分不可能で、できても2名。通常受入れるとか、それ以外に家庭にいろんな事情があってということであれば4名まで受入れるというふうな形です。</p> <p>ただ、コロナ禍で、利用される前に検査をしていただかないといけないので、多少いろんなハードルはあるが、できるだけ多くの方に利用していただきたいというふうに私の方は思っているので、相談支援専門員さんにいろいろとご連絡をしていただければなと思っています。</p>
会長	<p>良い事例をご紹介いただきましてありがとうございます。</p> <p>このささえ愛サポートに関しては県から出雲市を指定いただいて、この事業を最初に取り組み、そして2、3年で立ち上げた事業で、まだ始まって間もないということと、先ほどおっしゃったようにコロナ禍でなかなか自由に利用することが困難だということも重なった話であるが、使った方に関しては良い結果が出てるということをご報告いただいた。</p> <p>他にあるか。</p> <p>このささえ愛サポートについていかがか。</p>

H委員	<p>ささえ愛サポートのコーディネーター事業所の一つですが、サポートの機能が今幾つかある中で、皆さん方が一番最も大事だと言ってくれたのは、緊急時の対応と体験をすること。緊急時の対応については、今おっしゃったように、なかなか事業所の厳しい状況があったりして、体験に関して言うとアパート一室の確保していただいているということで、空いてればすぐに体験ができるということではありますけど、利用実態としては実績が上がっていないのはやっぱりコロナ禍もあって精神科病院からの地域移行するための相談員が病院に入って面会するというのもできにくくなった影響があって、利用が進んでいませんけど、あるということの安心感がすごく大きいというふうに感じている。</p>
C委員	<p>付け加えますと制度を知っているのが 10%というのは確かに周知不足だということを表していると思うが、今回のアンケート調査の 500 何名がいろんな障がいのある方が対象で、このささえ愛サポートである緊急時に障がいの方の行き場を確保、安心を与えるという趣旨に該当する方がどれぐらいいらっしゃるかということで、また割貝が違ってくると思いますけど、まだまだ周知、一人ひとりの障がいのある方に周知という意味では、まだこれからだと承知している。今までは相談支援専門員が日頃関わっている支援また入所なさってる、また通所なさってサービスを利用してる方に対して、この周知をしてきたところですが、これからは行政と一緒に障がいがある方に対するチラシを作ったり、相談支援専門員への教育をもっとしたりして、もっと徹底してささえ愛サポートの周知を障がいの方一人ひとりに行き届くように今後活動していく。</p> <p>それから短期入所事業所だけじゃなくて、今、緊急時に受けるアパートの運営を予算を取ってしておりますので、体験並びに緊急時必要な方がもっと利用できるように、これも相談支援専門員を通して、見学等も含めて活用できる体制、利用できる人の緊急時の枠を広げてしていこうということ考えていこうとしているので、またその結果につきましては報告させていただきたい。</p>
会長	<p>コロナウイルス感染症の影響とも関係するかもしれないが家庭内でケアをしてる方がコロナ感染をして、障がい者の方がケアができないというような場合は、体験型が使えるんでしょうか。濃厚接触者になったら使える。そういうケースで困ってるケースは、市の方に相談はあるか。</p>
事務局	<p>先ほどおっしゃったように、家で例えばヘルパーさんに来てもらいながら、家で生活なさってるような方たくさんいらっしゃいます。何件か聞いたのは、ご家族が感染されて、でもヘルパーさんもそうすると来れないでしょうかというケースは何件か聞いています。ただご親族の協力で、どうにかこの期間を乗り切ったということがほとんどでした。</p> <p>そうすると濃厚接触者になると、なかなかその方だけを分離してこのアパートで緊急でっていうことは、なかなか難しいと思う。現時点ではちょっと体制が整っていないと思っている。</p>
会長	<p>ささえ愛サポートが、コロナの影響で利用が伸び悩むという話だったので、コロナ感染の場合どうかなというのが私も数件耳に入ってたので、お尋ねしました。</p> <p>当面第 8 波を乗り切るということでまた家庭内でいろんなパターンがあるか</p>

と思いますので、どういう対応ができるか柔軟にと言ってもなかなか難しいところですけど、高齢者の関係でも認知症の方の入院ができなかったり、その急性期病院しかないの、慢性期のところで、なかなかリハビリしながらコロナ対応ができるようなところがありませんので障がい者の場合も同じような課題があるんじゃないかというふうに思う。

ささえ愛サポートについてよろしいか。

課題は幾つかありますし、受け入れる施設が職員の関係で少ないということも課題としてあろうかと思いますが、少しずつ成果を上げてるんだろうというふうに思う。

次の(4)が幅広い内容ですので、ここに時間を取りたいと思う。

この「第7期の障がい福祉計画・第3期の障がい児福祉計画」に向けてのニーズ把握ということで、調査結果からはグループホームとか施設入所とか、そういう家族と離れて安心できる場がもうちょっとあると安心という感じの調査結果ではありますけど、社会全体としては、そういうところから地域で自立して生活できる方向で支援を強めていこうという流れではあるが、そういったことへの高齢のご両親と一緒に不安があるということが現れてるのかなというふうに思う。

ただグループホームと施設入所の枠をどんどん広げるかということ、そういうわけでもないの、そういうことへのご要望は受けとめながら、地域での生活支援のサービスの強化に力を入れていかないといけないんじゃないかというふうに思う。

それから対象者が前回と違うわけですので調査の対象者の違いなのか。

この3年間の成果なり課題なのかわかりませんが、就労継続支援B型は、利用者が多くなって、A型については期間限定なので、現在の利用が減ってるのか、事業によって様々に変化をしているのでその辺はまた詳しく検討いただけたらというふうに思う。

4ページの上のところにあるように依頼が多く対応できていないサービスとしては施設入所支援、それから児童発達支援、放課後等デイサービスである。特に、後半の二つについては今までの力を入れてきたところへのニーズが、まだまだ多いということが現れてるかと思う。

ここで拾い上げられてないニーズもいろいろあろうかと思うので、この記載以外でも結構ですので、ご意見あればご発言いただきたいと思うが、いかがか。

## I 委員

ここの項目ではなく災害時、自治協会、地域でも災害対策本部を立ち上げまして、私たち住民に連絡してみんなで避難所へ避難するというその流れになっていてます。昨年の夏は私たちの地域で災害が起きた時、本当に流れがスムーズでよかったが、それは自治協会に入ってる方のみでした。私の地区では、わりと自治協会に入っていますが、地区によっては自治協会に入っていない人が多い。

若い人の意見を聞くと、災害時だけ助けてくれと。でも自治協会に入りたくない。毎月とか2ヶ月に1回会合があり、その中でお互いの人間性も知り、この人なら一緒にリーダーになってもらって避難できるなということになる。定期的にみんなの地域で人間関係を作って、そして一緒に逃げれる雰囲気になる。自治協会の加入の人数がだんだん減ってくるという状況を、市の方はこのままどういう考えを持っておられるのか。それに代わる組織でも作られるのか。災害時は本当に、大変なことになるなあということを経験した。

福祉施設でお世話になっておられるご夫婦がおられるんですけど災害時は自



	<p>分たちは、そこの施設から助けに来てくれるからとおっしゃっている。そういう方がおられるわけですが、そしたら私に、ぜひその方が自治協会に入るように言ってくださいと、施設から言われた。災害時は施設から助けに行けるかどうか分からない。だから約束ができないんだと、いうふうなことをおっしゃっていた。</p> <p>今、その方については、自治協会の会長に一応事情をお話をして、入ってもらうようにということをお願いしました。返事はもらってないんですけども、人間関係のこともありますので、いろんな事情持ってる方が町内にはいるわけです。やはり、基本的にはまずそういう気心の知れた人同士という体制づくりが、まず必要だということで、先ほど言いましたように、市の方は自治協会というものをどうしようとしておられるのか。</p> <p>どんどん人数が減っても構わないとしておられるのか、やはり大事な組織だから、ぜひ、活動して欲しい。最近、どうしてあげたらいいのか不安です。</p>
<p>会長</p>	<p>市の方も自治協会の活動は、一生懸命やりたいと考えてはおられると思うが、報告事項に障がい児者の災害支援についての報告をいただくことになってるので、ご説明しながら、今の例えば自治協会に入っていない方に関してどう考えるか、自治協会を含めて一緒にやる際にどういう配慮を考えるかというのを簡単にご説明いただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;"><b>(2) 障がい児者の災害時支援について</b> <span style="float: right;"><b>【資料3】</b></span></p> <p>(事務局説明)</p> <p>先ほど町内会の話が出ました。町内会に加入されるかされていないかではなく、人の命は等しく助けなければいけないというふうに考えておりますので、私どもは自治協会に加入しておられるから助けるのではなく、1人でも地域の顔の見える関係性の中で、地域福祉も災害時も平常時も住みよい暮らしをしていただくというふうに考えておりますので、加入の促進につきましては市全体としては進めていきたいというふうに考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>避難先の整備がされつつあるということ。</p> <p>ただ災害発生から福祉避難所Bまでの移送を誰がどうするのかという点では、委員さんがおっしゃったようなところが大きいかなと思いますので、今日は時間がないのでこれについては議論いたしませんけど、また整理したところでご報告いただきたいと思う。</p> <p>今の課題以外で、少し就労の辺の課題もありますので、関連する委員さんにご意見いただけたらと思います。</p>
<p>J 委員</p>	<p>(4) の障がい者福祉計画第3期障がい福祉計画のところで、ここに出ていないご意見、相談で寄せられる意見として、やはりグループホームに入りたい、不足しているというのはよく出てきております。それはその中で多数の意見というわけではないんですけど現在のグループホームで就労してる方と、それから福祉就労してる方とかいろいろあるんですけど、それが空いてところに入るしかないといったところもあって、中にはほとんどが福祉就労しておられて自分だけが就労しているところだと何となくホーム自体がまったりとし</p>

	<p>て就労に対してモチベーションが低下してしまうとおっしゃる方もいる。就労型のグループホームというのが今後できていくといいのかなと感じるところ。それから就労継続支援B型の利用というのは、出雲は利用される方も多くなるかなと思うけども、B型の方の相談としては、まず一般就労が希望だけれども、働く力などで、一般就労は難しいなという方も、B型の利用に利用料が必要というところがネックになっている。工賃が安い上に、人によっては月 9300 円の利用料がかかるということがある。本当に客観的に見ると無理だと思っても、収入を得ないといけないのでハローワークに行かれ、うまくいかずだんだん自己肯定感を低くされる方がおられるので、B型の利用料というところがもう少し少なかならないのかなと。</p>
会長	<p>関連して何かあるか</p>
K委員	<p>就労のところはリーフさんに繋いだり、ウィッシュが動くということはない。発達障がいの方への支援というところで、まだしなければならぬところもあり、よろしく願いしたい。</p>
会長	<p>何かご意見、整理してあるか。</p>
L委員	<p>移動支援事業に関連してになるかと思うが現状をお話しする程度になる。本当に、毎日たくさんの送迎サービス利用で、子どもたちが通ってきておまして、関係機関の皆様には大変お世話になっている。希望者が増えているということも、それから先ほどから出ておりますように人手不足だと思うんですけど。第1便で送っていただく子どもたちと第1便に乗れない子どもたちがいます。現状では数名が9時半頃に登校してくれる今の状況もございます。 関係機関の皆様には、大変工夫していただいて、送迎いただいて感謝している。</p>
M委員	<p>アンケート等見せていただいて膨大な資料で、どう次の計画に繋げていくか、非常にポイントを絞ってやってかないといけないと、全部のサービスについて障がい種別、年齢別の分析をなさってことはとても無理だと思いますのでその辺り絞って、今利用なさってる方が、どういう年齢層の方はどういう障がいがおありの方かという、まずそこを分析した上で、ポイントを絞ったような分析をして次の計画に生かしていくっていうやり方の手法をとってかないと事務局はとっても膨大な数字を集めたり、何の役にも立たない数字が出るという形になるんじゃないかなという気がして、本当にここまでの集計も大変な思いをしてお作りになったと思うんですが、次はもう少し絞る、そういったところをぜひ会長さんのご意見を聞きながら、やっていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。 これだけで計画を立てるというわけではなくて、今の利用実態を絡めないと解析できないと思う。ありがとうございました。</p>
N委員	<p>一つちょっとご質問させていただきたいことがある。 今回のこのアンケート調査ですけれど、ご利用者の方について 523 名の方が</p>

	<p>アンケート回答いただいたということで、実際のご利用者の方の回答が 45.5%。本人以外の方が 52.6%という結果をみさせていただいた。</p> <p>この利用者の方のアンケート用紙の見開き 1 ページ目のところに、本人の立場に立ってお答えくださいというふうに書いてあるんですけど、本人の立場に立って回答された方が 52.6%ということで、このデータ結果の感触として本人の立場に立って回答された方も本人の方が回答されたという感触なのか。或いは 45.5%だけだったという感触なのかちょっとそこら辺の感触がわからなかったので教えていただきたい。そのデータの構成の半数以上のところは当事者の立場に立っての回答データということになりますので、そのところの感触が少し知りたい。</p>
会長	<p>感じでしか分からない。</p>
事務局	<p>ご家族の方が回答されたのは 52.6%ということでございますが、ご本人の立場に立ってということで、その多くは保護者の回答されない障がい者の方であったり、保護者の方からの回答と受け取っている。よってご本人が回答されたことみなして、分析を進めていこうと思う。</p>
会長	<p>行政関係でそれぞれの立場で何かあるか。</p>
○委員	<p>子ども政策課の方では、就学前の子どもたちの発達支援のところいろいろな相談とか、心理相談員の学習習慣等での相談で答えさせていただいている。</p> <p>発達支援の相談の中で、小集団での体験を積み重ねていただきたいとか、個別の丁寧な関わりをもう少ししていただきたいと思う子どもさんも、どこにつながるかというところで、いつも発達支援の方でもいろいろお世話なっているところ。やはりニーズがすごく多いので、すぐに利用できない状況が続いていると思いますが、その中でも、相談支援専門員や事業所の皆様にいろいろなアドバイスを教えていただきながら、保育園に行かせることや子どもさんの育ちの場というところで、少し一緒に考えさせていただきたいなというふうに考えている。今日は貴重なお話をいただきましてありがとうございます。</p>
P 委員	<p>児童生徒支援課では、今までの話とずれるかもしれませんが、医療的ケア児への支援を次年度から進めていきたい。それに伴っていろいろと連携をさせていただけたらというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この 4 番目に関してはそれぞれいろんなご意見もあろうかと思っておりますので、ある程度期限を決めて文書で事務局にご意見を寄せていただければよいと思います。</p> <p>5 番目の地域資源のニーズについて、自宅、商業施設、娯楽施設に出かけたいということと、家族と一緒に住み慣れた地域で暮らし続けたいというご要望、それから困りごと等の相談支援と地域住民の理解がより必要ということが整理されておりますが、これについて何かご質問ご意見あるか。</p> <p>障がい者の雇用も随分ご努力いただいて進んでるかと思っておりますけど、何か商工会の立場で 5 番目だけではなく、今までのとこで何かご意見ご質問があれば一言お願いしたい。</p>

Q委員	<p>課題もいろいろ挙がっておりまして、当然ありそうな課題が上がっていて、これをどのように解決して変わるのか、市だけの問題ではない。事業者としてもどういうふうに関わっていくかということを考えていかないと思う。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 他に5番目について、ご意見あるか。 それでは6番目の新型コロナウイルス感染の影響についてですが、これからまた第8波ということで、いろんなサービスについては、感染対策をしないといけないということで一部制限を強めないといけない側面もあるかと思うが、ここで出ている内容は一般の方も同じような行動制限されてるんじゃないかと思う。弱者に強い影響が、例えば高齢者だと、ADLが低下するとか認知症が進むとかっていうことがありますし、障がい者の場合もやはり社会的な交流が減ると、いろんな面での影響がより多くあるので、市の方からも常時、情報提供をいただきながら対応していただけたらと思っている。 障がい者施設の抗原検査は、施設購入で今やっておられますよね。</p>
G委員	<p>施設購入もそうですけど、県からいただいている。今、看護師が6人おられますので、中でクラスターが出たときには、嘱託医の先生と看護師が検体を採取、それを嘱託医のところへ持って行って、そこで行政検査してもらう。かなりの数をしております。夜間とか土日にも発生した場合には、濃厚接触者であった職員も出勤して、すべて検体をとってもらってます。</p>
会長	<p>2類から5類への見直しの中で、医療費の問題やワクチン接種料の問題とかいろいろ課題も出てくるかと思いますので、整理しながら、まだすぐに収束ということになりませんので状況を見ながら議論をしていきたい。 同様の活動の中で、精神科病院でなかなか入れないということでご質問を事前にいただいておりますので、ここでご発言いただきたい。</p>
R委員	<p>アンケート調査の自由記述の68ページにピアカウンセリングを受けたいという要望が書いてあります。私自身、何年か前までは、保健所等の依頼を受けて、精神障がい者のピアサポーターとして活動をしていました。ここ数年活動の実績はありません。現在のピアサポーターの養成状況はどうなっていますか。また、ピアサポーターの活動実績を把握しておられたら教えてください。 障がいの種別を問わずピアサポーターが増え、活動ができる場が広がるといいと思っている。</p>
事務局	<p>ピアサポーターの活動実績等について回答させていただきます。 市では身体障がい者ご本人、それから知的障がい者の保護者の方、合計14名の方に、障がい者相談員として委嘱し活動していただいております。 障がい者相談員身体障がい者相談員は、身体障がい者の自立と社会参加を促進するための指導助言や関係機関の業務への協力を行っていただいております。具体的には、貸付金や助成金の申請相談や、補装具や日常生活用具の相談、それから関係機関への会議の参加などといった活動をしていただいている。それから知的障がい者相談員は家庭での療育や生活に関する相談指導、助言、それから就学や就職についての指導助言など行っている。具体的には、家族や知人との人間関係についてや、就職先相談などについて行っていただい</p>

	<p>おります。</p> <p>実績では、令和3年度は相談等活動件数合計で120件、令和2年度は140件活動していただいている。年に1回、この障がい者相談員を対象にしまして、研修会をしている。市内の委託相談支援事業所9事業所でのピアカウンセリングの令和3年度の実績でございますが、これはコロナ禍の関係もありまして2件で、これは、発達障がいのあるアドバイザーが発達障がいの利用者の就職相談を受けられたというケースです。</p> <p>あと、今日のご欠席でございますが、出雲保健所から情報をいただいている。保健所で実施している精神障がい者のピアサポーター養成につきましては、県から市内の2つの事業所に委託されておりまして、現在ピアサポーターは3名いらっしゃいます。入院中の精神障がい者の退院に向けた支援をされておりますが、現在はコロナ禍で医療機関に入れずに活動が停滞しているという状況です。</p> <p>こうした状況の中でも、今年度はお便りの作成や、ピアサポーターを募集するチラシを作成する取り組みをされていると聞いている。</p>
<p>会長</p>	<p>特に精神の心の医療センター内での活動というのは、コロナの関係で非常に制限されている。他の医療機関それからいろんな福祉施設へのボランティアの受け入れもコロナ禍で非常に難しくなってると思う。</p> <p>そういう中でも工夫しながらやっていかないとけないと思うが、もう少しピアサポーターの活性化できたらということのご質問かと思いますが、よろしいか。</p> <p>他に、ここまでのところでご意見はあるか。</p>
<p>S委員</p>	<p>アンケートは、サービスに関することなどについての記述、内容だったわけですが、例えば金銭管理、この中にあまり出てきてないところですが、実際に日常生活を送る上では、支払い等についてご自身でなかなか難しいという状況の方がおられて、そういった方への援助っていうのをやっている。そういったものも地域での生活を支える大きな一つの要因要素になっていくのではないかなと思っている。障がい福祉のサービスではないというところがなかなか計画の中に盛り込みにくいところだと思う。そのような地域生活を支える様々な取組というものについても、計画の中でも触れていく必要があるのかなと思っている。権利擁護という大きい括りで話をまとめていくという部分もあるのかなと思っている。</p> <p>もう1点はアパート入居がしにくい方の中で身元保証を求められるケースがあったりすると、なかなかそういった方はアパート入居に繋がらないという状況もある。地域の生活の中での拠点になる住居を確保していく上で、そうした課題についても計画の中で取り上げていくということが今後必要になってくるのではないかなというふうに思っている。</p>
<p>会長</p>	<p>直接盛り込むかどうかは別にして、こういう広がりサービスがあるということは何らかの形で明示しておく必要があるかと思う。</p> <p>今日はなかなか膨大で意見をまとめて出しにくかったという場合は、年内ぐらいでいいので事務局に何らかの形でご意見なりご質問を出していただければ、次の回で反映して整理したいと思うので、各委員の皆さんで何かございましたら、事務局の方にご意見、問い合わせいただきたい。</p>

	<p>以上、議事について全般、何かご意見あるか。</p> <p>(なし)</p>
6. 報告事項	<p>(1) 出雲市自立支援医療費助成事業(更生医療・育成医療)の見直し及び身体障がい者にかかる社会参加促進事業の見直しの実施延期について【資料2】</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p>
会長	<p>延期する内容については、コロナ禍で経済的にも厳しい中で、助成制度それから社会参加促進事業制度については見直しを一応延期するとのことである。</p> <p>そして、2番目の自動車運転免許の取得費補助制度については、令和5年4月から対象を拡充して実施をするということで、若干の方針転換ということでしょうか。</p> <p>内容については一応ご了解いただいておりますが諸事情を勘案して、こういう形ですということになる。</p> <p>議事報告を一応終わりましたが、全般で何か委員の皆さんからご意見、ご発言あるか。</p>
7. その他	
E委員	<p>(島根県医療的ケア児支援センターの開設について説明)</p>
会長	<p>新たに、島根大学医学部附属病院内に開設された医療的ケア児支援センターについて何かご質問あるか。</p>
B委員	<p>一昨日、センターに私たちの会の家族と一緒に激励方々に行った。もうすでに一般のお客さんが相談事があるって来られており多忙を極めておられるような印象でした。お一人でやっておられるので、そこが心配だなと思っていて、早めに人数を増やしていただけたらなというふうに思ってたところなんです。非常に期待するところですので、ぜひ頑張ってくださいなというふうに思う。</p> <p>市に質問で、アンケートが1,000人配布500何人返答があって、50の方が医療的ケアがある。全体の障がい者の人数はどのぐらいかと思って聞きたい。</p>
事務局	<p>サービスを利用している対象者は2000人。</p>
会長	<p>他の県では、小児医療センター等が整備されている大きな県がありまして、島根県ではなかなか医療的ケア児のレスパイトケアも含めて、なかなか難しいことがたくさんある。コールセンターができたのは、一歩前進。</p> <p>ただ、今、お一人が相談、コーディネーターということでしたけど、流れとしてはおそらく、中央病院と大学病院のNICUが大学に統合して、NICUで小さいお子さんもおられるので、そこで医療的ケア児の相談体制を強化しないといけないということで、これが大学にできたのかなという流れで理解しましたけど、そうするとやっぱりNICU退院のところはまず非常に太いパイプで強化ができて、コーディネーターさんの今までの経歴とか適用にもよると思いますけど、なかなか地域のことも理解しながら、学校への進学とかのコーディネー</p>

<p>事務局</p> <p>8. 閉会</p>	<p>ションとかはなかなか難しいところなので、そこは市の今までの相談支援体制と連携しながら、ぜひやっていただきたいと考えている。そういう意味でぜひお忙しいでしょうけど、コーディネーターさんに、来年からここにも出席いただけるような体制をとっていただけるとありがたい。要望ですけど、よろしく願いしたい。</p> <p>今日の議事と報告については、終わらせていただきたい。</p> <p>会長ありがとうございました。</p> <p>また委員の皆様からもたくさんのご意見を頂戴しました。ありがとうございます。</p> <p>本日の議事に関しましてのご意見を年内のところでお寄せいただきたいと考えている。メール或いは電話、ファックスでも結構です。</p> <p>福祉推進課の自立支援給付係、障がい者福祉係にご意見をお寄せいただきたい。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それから3月に第3回の協議会を開催する予定です。日程が決まりましたら、ご案内をさせていただきますが、委員の皆様にはご多忙のところでは存じますが、またご出席の方よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以上で閉会とさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
-------------------------	--